

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	越前市児童発達支援センターなないろ(早期支援教室)			
○保護者評価実施期間	令和7年1月24日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数)	43
○従業者評価実施期間	令和7年1月22日		～	令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さまざまな専門職(保育士・言語聴覚士・臨床心理士・理学療法士)がG保育を担当する体制となっており、多面的にお子さんの特性や課題を捉えたり、お子さんに合った支援方法を考えたりすることができる。	・療育後に担当職員全員で振り返ってお子さんの姿や反省を共有したり、次の療育内容に向けた意見を出し合って決めている。 ・個別支援計画立案の際は、職員全員で検討している。 ・支援等について話しやすい雰囲気づくりをしている。	・お子さんの発達や興味を大切に、「やった、できた、たのしい」と思ってもらえるような課題を常に取り、より充実させていきます。 ・課題が固定化しないように工夫したり、お子さんの理解や発達段階に合った遊びを提供できているかを丁寧に考えます。 ・遊びを積み重ねる場合は、ねらいを明確にします。
2	こどもの成長や発達の基盤となる親子関係や家庭生活を安定・充実させるために家族に寄り添った丁寧な支援を心がけている。	・親子通所であるため、お子さんの活動の行動を確認しながら、その理由や適切な関わり方を都度、保護者と共有できる。 ・お子さんへの理解につながるようペアレントプログラム等の学習会を実施し、家庭で取り組みそうな具体的目標等も一緒に考えている。 ・保護者のご負担軽減のために、学習会は療育に来所日に設定している。 ・保護者が交流できる機会(なないろカフェ等)を実施している。 ・ご希望等に応じて、個別面談の時間を設けている。	・ご家族の思いを丁寧に聴取し、ご家族自身のエンパワメントを前提とした支援を今後も心がけます。
3	職員の資質向上のため、研修を積極的に受講している。	・職員体制を調整し、外部研修を受けられるようにしている。 ・研修受講後は、その内容を職員全員に共有し、療育に反映するようにしている。	・今後も積極的な研修受講等を通じて、支援の質の向上に努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを活用していく余地がある。	・外部研修や今年度、モデル事業にて学んだ評価などについてどう活用していくとよいか検討段階である。	・新年度に向けてどう活用していくとよいかを決め、実践したり、療育に活かしたりできるようにします。
2	きょうだいを含めた支援については、不十分なところがある。	・令和6年度は通所児親の会こじかの会の行事で親子(きょうだいも含む)で参加できる行事を年1回設けた。	・通所児親の会こじかの会と共にきょうだいを含めた支援のあり方を検討していきます。
3	事故対応や災害対応等の緊急時の対応マニュアルを整え、訓練も行っているが、実際の緊急事態が起こった際によりスムーズに対応できるよう備えが必要と考える。	・マニュアルは情報量が多く、実際に対応する際にスムーズに対応できない可能性がある。	・緊急時をより想定した訓練を実施します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 越前市児童発達支援センターなないろ(早期支援教室)

公表日 令和 7年 3月14日

利用児童数

53

回収数

43 (回収率81%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	3		1		指定基準を満たす広さとなっております。必要に応じて課題の工夫でスペースを確保します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	41	2				目が行き届くよう人員配置の要件以上の職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41		1	1		環境を具体的視覚的にし、やることが明確になり、自発的に行動できるようさらに工夫していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	2		1		専門職を配置し、専門性のある支援に努めています。支援について、ご不明な点がございましたら、いつでもご意見などをお聞かせください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	1		2		こどもの年齢や発達段階に合わせた支援プログラムを作成し、支援内容を考えています。なお、支援プログラムは市ホームページにて公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42			1		支援計画の支援内容とそれぞれの項目の選択について、丁寧な説明を心がけています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42			1		支援計画にサインをいただいた後、写しをお渡ししています。計画に沿っているか随時ご意見をいただければ幸いです。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39	3		1		同じ活動が数回続くことがあります。経験の積み上げやその回毎のねらいを考えております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	30	1	6	6		ほとんどのお子さんが地域の園に通われているため、園との交流は特に行っていません。地域支援として、入園される際の移行支援や保育所等訪問支援を通じて、他のこどもとの活動がよりよくなるように支援します。
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	43					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	42	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	1		1		通所時にお子さんの様子や関わり方について、お子さんや保護者に寄り添い共感しながらお伝えすることを心がけています。共通理解のため、ご家庭での様子もぜひお聞かせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	2				

者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	37	5		1		通所児親の会こじかの会にて親子・きょうだいで参加できる行事を企画開催していますので、ぜひご入会ください。また、なないろカフェ(保護者同士の茶話会)等もありますので、ご都合に合わせてぜひご参加ください。各グループで学習会を実施する際は、保護者同士がつながりやすいような雰囲気づくりをします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	3				保護者のご都合に合わせ、通所日とは別に面談の機会を設けています。ご希望がございましたら職員にお気軽にお声かけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	2				15～17と同様
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	5		16		ホームページにつながるQRコードをオリエンテーションの用紙に掲載しました。療育室や掲示板にも掲示し、アクセスしやすいように改善します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	43					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	4		1		各マニュアルを策定し、各部屋に掲示しています。通所される方への避難訓練は、グループ保育時に実施しています。お休みされた場合は、次回の通所時に避難方法などをお知らせするようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	6		3		職員は、市民プラザたけふ入居団体の地震・火災を想定した避難訓練に参加し、有事に備えています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	1		6		療育は安全を最優先にしています。怪我やヒヤリハットすることがあった場合は、その場ですぐに保護者と状況や対応を共有します。重要事項説明書に記載の通り、医師の判断が必要と思われる場合には、協力医療機関嘱託医と連携し、対応します。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41	1	1			環境の変化、初めてや慣れない場所や活動等に戸惑いが少なく、安心して楽しく通所していただけるよう工夫に努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35	7	1		なないろ行くよと伝え、とても嬉しそうです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	1				支援について、ご不安やご不明点がございましたら、いつでもご意見などをお聞かせください。ご満足いただける支援を提供できるよう日々学びを深めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		越前市児童発達支援センターなないろ(早期支援教室)				
		公表日 令和 7年 3月14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・スタッフが主1人、副2人対応で小集団療育の数に対して適切な配置であると思う。	お子さんの状況などに応じて、さらなる支援の工夫が必要かなどについて随時確認します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・視覚支援の活用や環境設定がされている。 ・年齢や子どもの特性に合わせてわかりやすい絵カード等の視覚的支援を使っている。	構造化について学んだり、環境設定について改善の余地はないか検討したりします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・クールダウンなどを行う際、同じ空間内になるため、衝立などを用いて環境設定している。 ・集団に入れない子どもは落ち着くまで別室を利用したり、安心できる空間の中で過ごしたりできるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・療育後はすぐにその日の反省、振り返り、次の目標をスタッフ同士で話し、共有できている。	お子さんの行動をきちんと予測し、特性に合わせた適切な課題設定ができるよう工夫していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・振り返りやグループ会議などで話をする機会を持っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			外部研修を積極的に受け、伝達研修にて他職員にも共有する機会を徹底します。また、学んだことを療育に反映して質を高めます。
適切か	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			発達の5領域、特性、環境等の把握など、適切な評価ができるよう質の向上に努めます。今年度、研修を受けたSAPLIなども積極的に活用します。こどものニーズの把握は不十分なところがあると感じるため、こどもの思いも聞くようにします。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画は作成したものを必ずグループ会議でスタッフで検討する場を持っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		半年ごとの見直しで、計画に沿った支援に抜けがないようグループ毎に計画をまとめたものを作成している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインを確認し、お子さんに合った項目や支援内容を設定するよう検討している。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		必ず療育に関わるメンバー全員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・固定しないように職員間で話をするようにしているが、マンネリ化してしまうこともある。ネットや本などで活用できるものを取り入れていく。 ・月2回療育でだいたい同じ活動を行い、積み上げをねらっている。 ・1回目での反省を2回目で活かし環境の再構築をしている。	お子さんがやってみたい、楽しいと思える遊びや5領域の視点を大切にします。遊びのアイデアを得るツールを活用し、さまざまなプログラムを計画実施します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		療育中に個別活動と集団活動を取り入れている。	今年度の研修で学んだ遊びのレベルを活かしながら個別と集団活動の組み合わせ方について検討します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終わった後すぐに反省、振り返りを行い職員間で共有できている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		サービス担当者会議は担当者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・通所児のほとんどが地域の園に通っているため、保育所等訪問を実施している。 ・入園する際には移行支援を実施している。 ・療育に通所している子の担任などの療育見学を受け入れている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・小学校への移行支援を所属園と連携しながら必ず行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	6			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・地域の園との併用児がほとんどであるため、実施していない。	ほとんどのお子さんが地域の園との併用をしており、他の子どもと活動しているため、園との交流は特に行っていません。地域支援として、保育所等訪問支援を通じて、他のこどもの活動がよりよくなるように支援します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・療育前後や療育中に話をするよう心がけてはいるが、複数いるとどうしても伝えきれない印象はあるので、都度気づいた時に話せるようにしていきたい。	通所時にお子さんの様子や関わり方について、お子さんや保護者に寄り添い共感しながらお伝えすることを心がけます。

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・クラス別の勉強会やペアプロ、ペアトレの実施している。 ・ペアプロ、各グループでの学習会、療育研修会をしている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		必ず支援計画を保護者に伝え保護者の思いを聞く場を作っている。	こどもの意思や意向も尊重できるように確認に努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・兄弟同士はないが、行事に兄弟の参加を受け入れている。 ・父と遊ぶ、クリスマス会、保護者の交流会などを実施している。 ・こじかの会・なないろカフェなどで保護者同士での交流を図っている。	きょうだい同士で交流する機会はありませんが、通所児親の会こじかの会にてきょうだいも参加できる行事を企画開催しています。なないろカフェ(保護者同士の茶話会)や各グループでの学習会において、保護者同士がつながりやすいような雰囲気づくりをします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・研修会のお知らせなどをHPに載せている。	HPをご存じない保護者の方について、QRコードを各部屋や掲示板に掲示する等、アクセスしやすい周知方法を検討します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		療育研修会などの際に、関係者や市民に見学をしていただける機会を今後も設けます。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			職員は、市民プラザたけふ入居団体の地震・火災を想定した避難訓練に参加すると共にBCPに基づく訓練を実施します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・予防接種については、健診結果で確認できる。	支援する上で大切な情報については、職員への周知に努めます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食事提供をしていない。 ・おやつ提供のみであり、事前に保護者に確認している。 ・おやつ提供があるので必ずアレルギー確認を行っている。	食事の提供はおやつのみで、食事提供はしていません。アレルギーの有無など保護者から聴取した内容を職員全員に周知するようにします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待防止の研修、虐待防止委員会及び身体拘束適正化委員会を開催し、適切な対応をしている。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			
--	----	--	---	--	--	--